

じゃらんリサーチセンター×ブログウォッチャー共同研究より

# 「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」 ～報告書～

2024年4月9日

じゃらんリサーチセンター 研究員 松本百加里

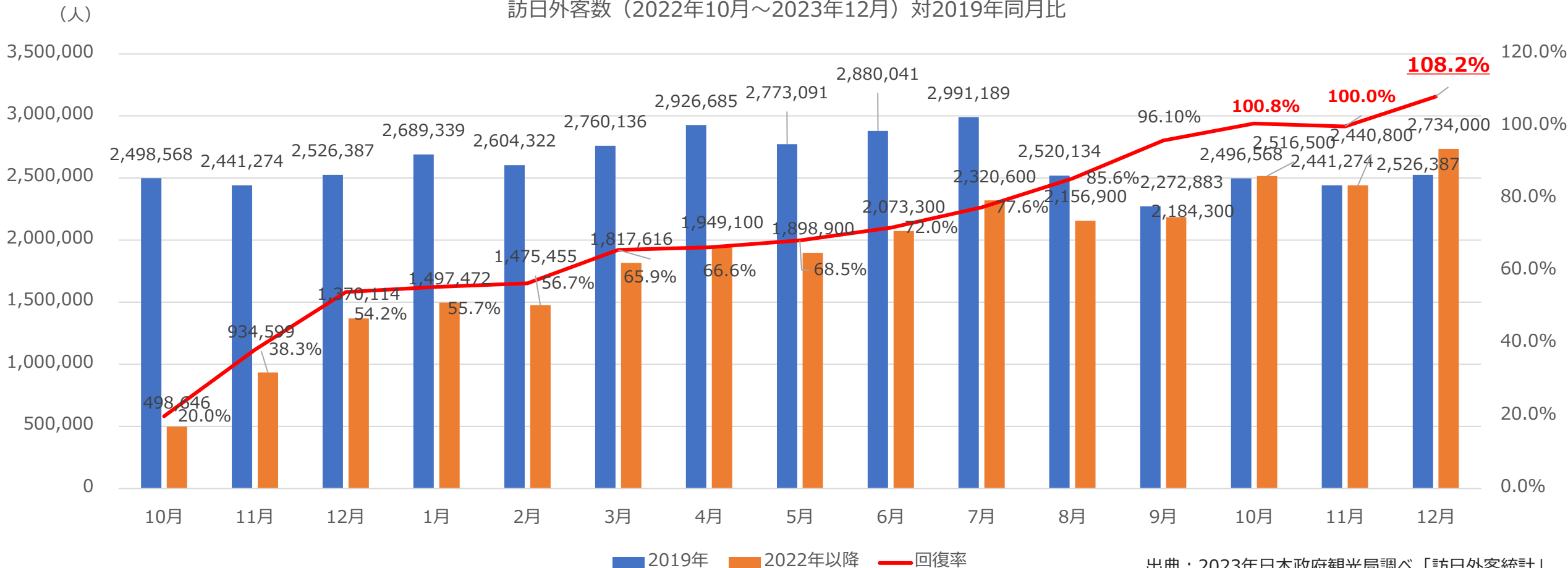


- **インバウンドマーケットの推移** .....P3-6
- **インバウンド地方分散への注力ポイントと必要な観点** .....P7-8
- **市場別の全国主要周遊ルート概要MAP・詳細MAP例** .....P10-14
- **ルート課題を見つけ出す診断チャート**.....P15
- **新たなモデルルートの検討ステップ案**.....P16

# 訪日外客数推移

2023年12月の訪日外客数は、2019年同月比108.2%となる273.4万人とコロナ禍以降で単月過去最多を更新。年間では**2,500万人を突破**。旅行消費額は**5兆2923億円**となり、コロナ禍前の19年の4兆8135億円を上回って初めて政府が目標とする5兆円を超えた。

訪日外客数（2022年10月～2023年12月）対2019年同月比



出典：2023年日本政府観光局調べ「訪日外客統計」

# 「観光立国推進基本計画」におけるインバウンドの目標

## 目 標

■ 早期達成を目指す目標：インバウンド消費 5 兆円、国内旅行消費 20 兆円

■ 2025年目標（質の向上を強調し、人数に依存しない指標を中心に設定）

持続可能な観光地域づくり	地域づくりの体制整備	① 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数【新】	100地域	
	インバウンド回復	② 訪日外国人旅行消費額単価【新】	20万円/人	好調
		③ 訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数【新】	2泊	
		④ 訪日外国人旅行者数	2019年水準超え	好調
		⑤ 日本人の海外旅行者数		
	⑥ 国際会議の開催件数割合	アジア最大・3割以上		
	国内交流拡大	⑦ 日本人の地方部延べ宿泊者数	3.2億人泊	
		⑧ 国内旅行消費額	22兆円	

2019年実績の3000万人超えを目指し、オーバーツーリズムを回避しながら、地域住民も旅行者も満足度の高い旅行にしていくには、地方分散が不可欠。

好調

好調

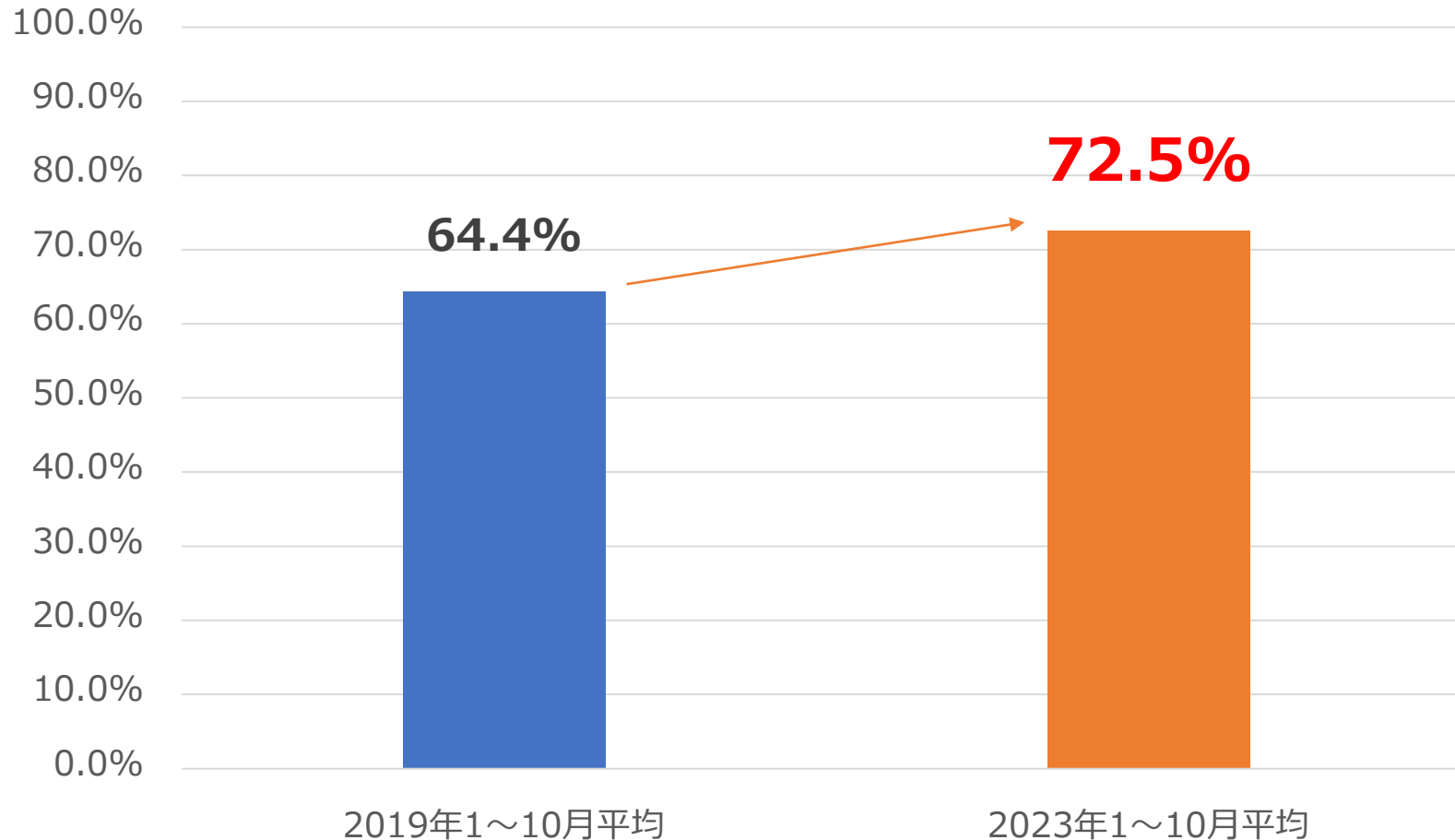
出典：2024年観光庁発表「観光立国推進基本計画」（第4次）概要  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/810001006.pdf>

# 都市部への外国人延べ宿泊者数の集中状況

2019年度の64.4%と比べて、2023年度は72.5%と都市部に集中する傾向にある。

\*三大都市圏とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県

三大都市圏\*の宿泊率比較



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

# 旅客便数の戻り状況

羽田空港と福岡空港のみ回復。その他の便はまだ回復しきれておらず、特に中部国際空港-54%と幹線以外のその他空港が-43%と回復が遅い状況。 ※幹線 … 札幌、東京、成田、大阪、関西、福岡、那覇の各空港を相互に結ぶ路線

空港	2023年冬期旅客便数 (便/週)	2019年対比
成田空港	1334	-21%
羽田空港	982	21%
関西国際空港	992.5	-25%
中部国際空港	207	-54%
福岡空港	392	24%
新千歳空港	123	-20%
那覇空港	123	-34%
その他の空港	158	-43%
合計	4311.5	-17%

出典：国土交通省調査「2023年冬期スケジュール期間（2023年10月29日～2024年3月30日）の事業計画」  
[https://www.mlit.go.jp/koku/content/001707036.pdf?fbclid=IwAR1VkIjT6FP\\_pvnk0xrRIjHb5vHOt8s9PMdl4T4a7-cIwss6VcRI6-7cE7I](https://www.mlit.go.jp/koku/content/001707036.pdf?fbclid=IwAR1VkIjT6FP_pvnk0xrRIjHb5vHOt8s9PMdl4T4a7-cIwss6VcRI6-7cE7I)

1 地方空港の便数回復

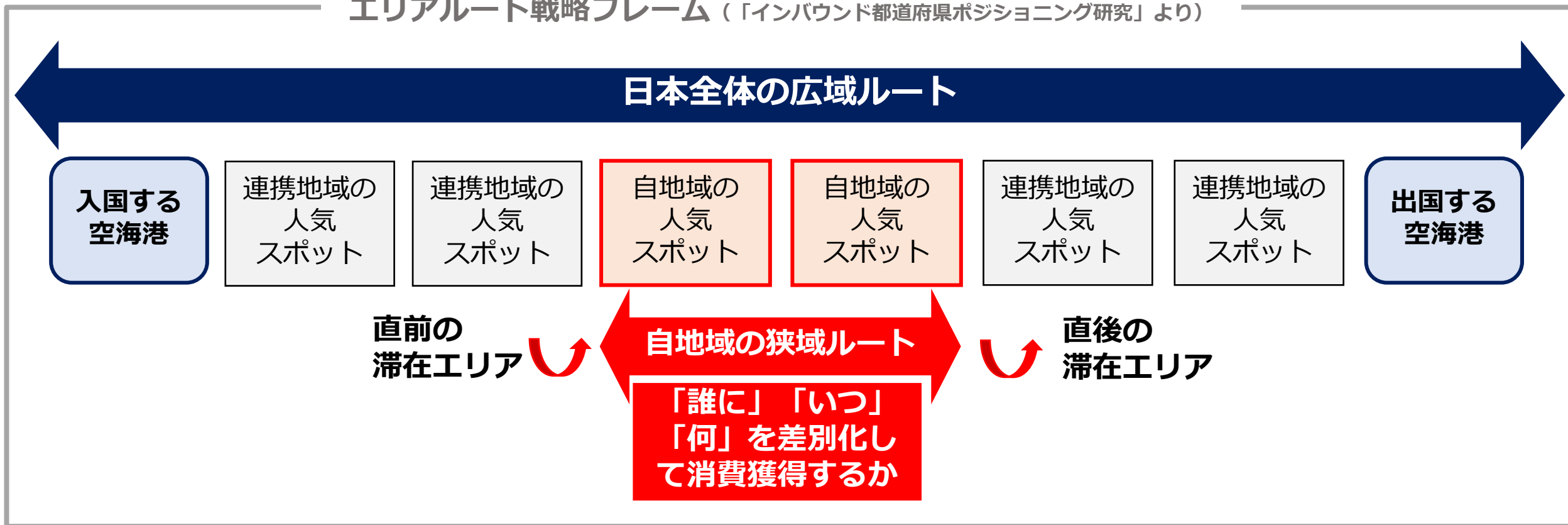
2 クルーズ船の回復

3 地方部含めたルート分散

「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」対象

# 地方部を含めたルート分散に必要な観点は？

エリアルート戦略フレーム（「インバウンド都道府県ポジショニング研究」より）



インアウトの空海港をイメージした上で、自地域は旅程でどこに入っているか、前後のエリアはどこで、何をして滞在しているかの把握が必須！



## 課題

エリアルート戦略を立てるために、自地域の状況を把握する必要があるが、  
「**全国でどのようなルートが主要なのか**」 「**自地域は主要ルートに入っているのか**」が不明瞭。

## 課題解決の仮説①

全国＋地域ブロック別の主要周遊ルートを  
ランキング化。日本地図にルートを可視化する。



## 課題解決の仮説②

自地域が主要周遊ルートに入っている場合、  
入っていない場合にあわせて、ルート課題  
を把握できる診断チャートを作成。

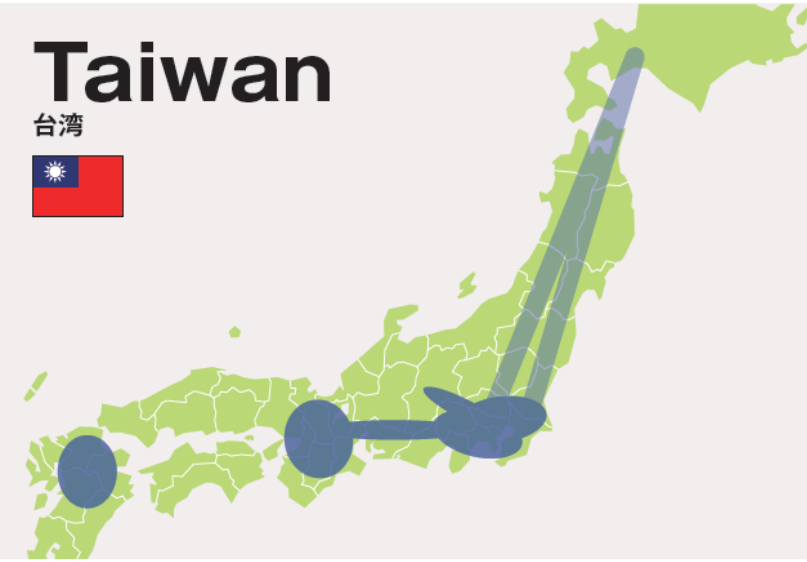


ブログウォッチャー社「デジタル観光統計（訪日版）」を活用し、  
ルートに焦点をあてて共同研究を開始

# 市場別の全国主要周遊ルート概要MAP（2023年1～9月分）

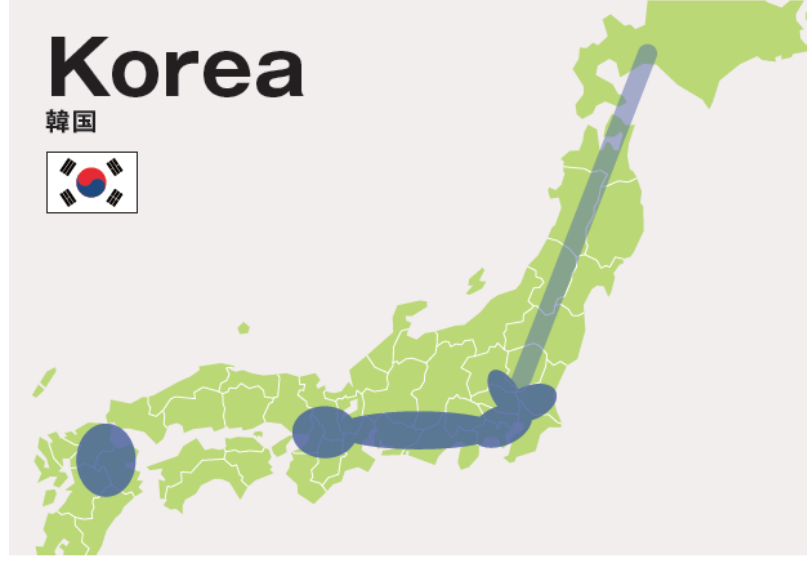
## Taiwan

台湾



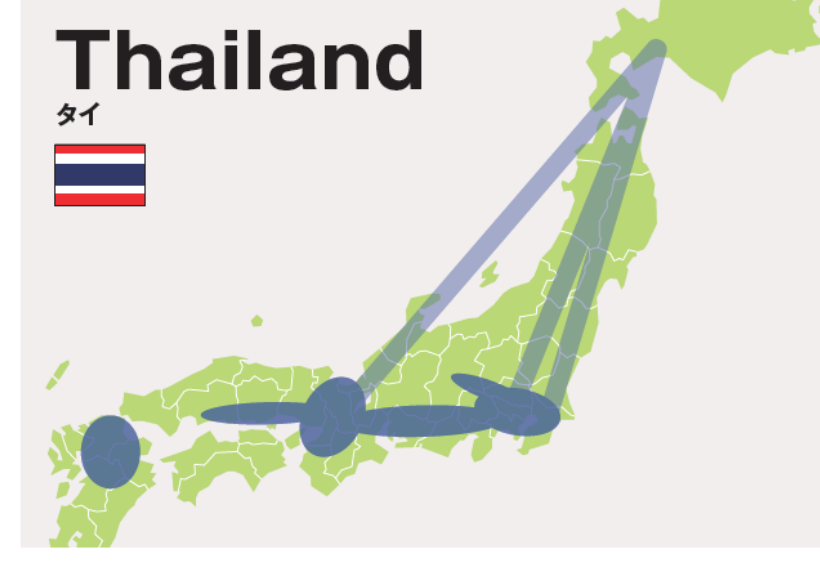
## Korea

韓国



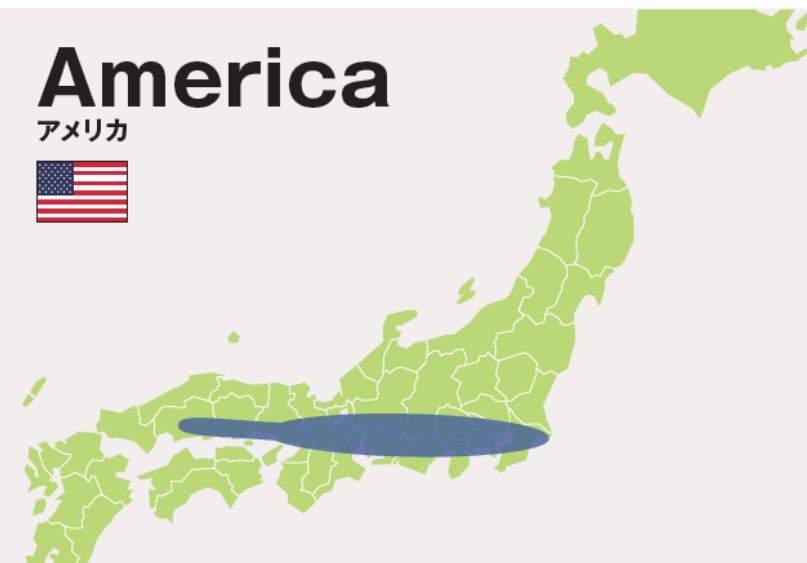
## Thailand

タイ



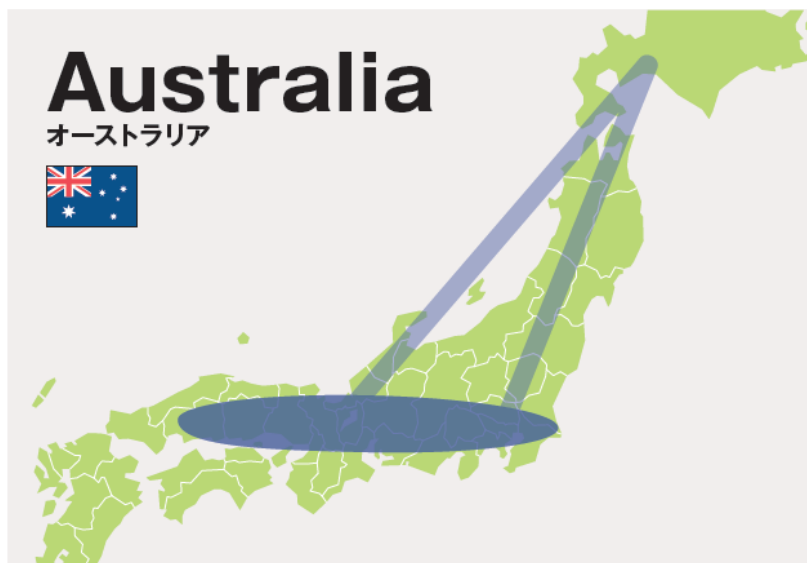
## America

アメリカ



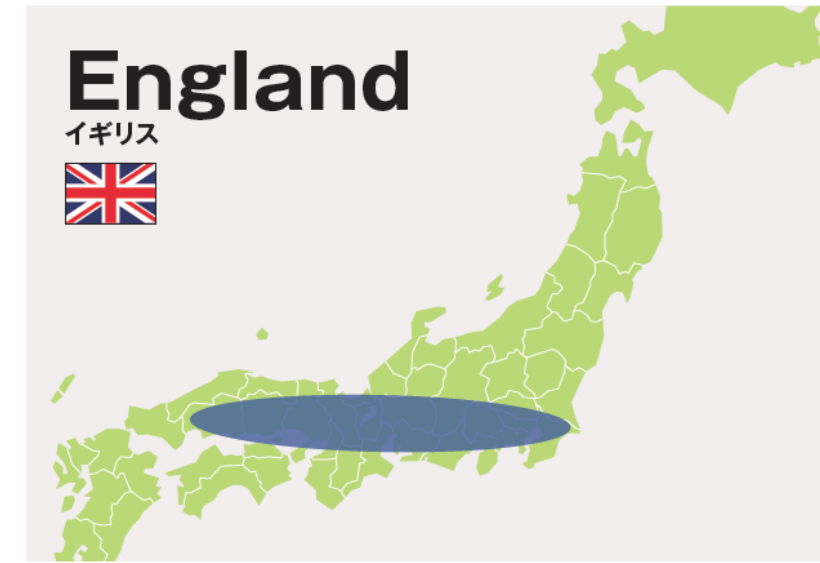
## Australia

オーストラリア



## England

イギリス

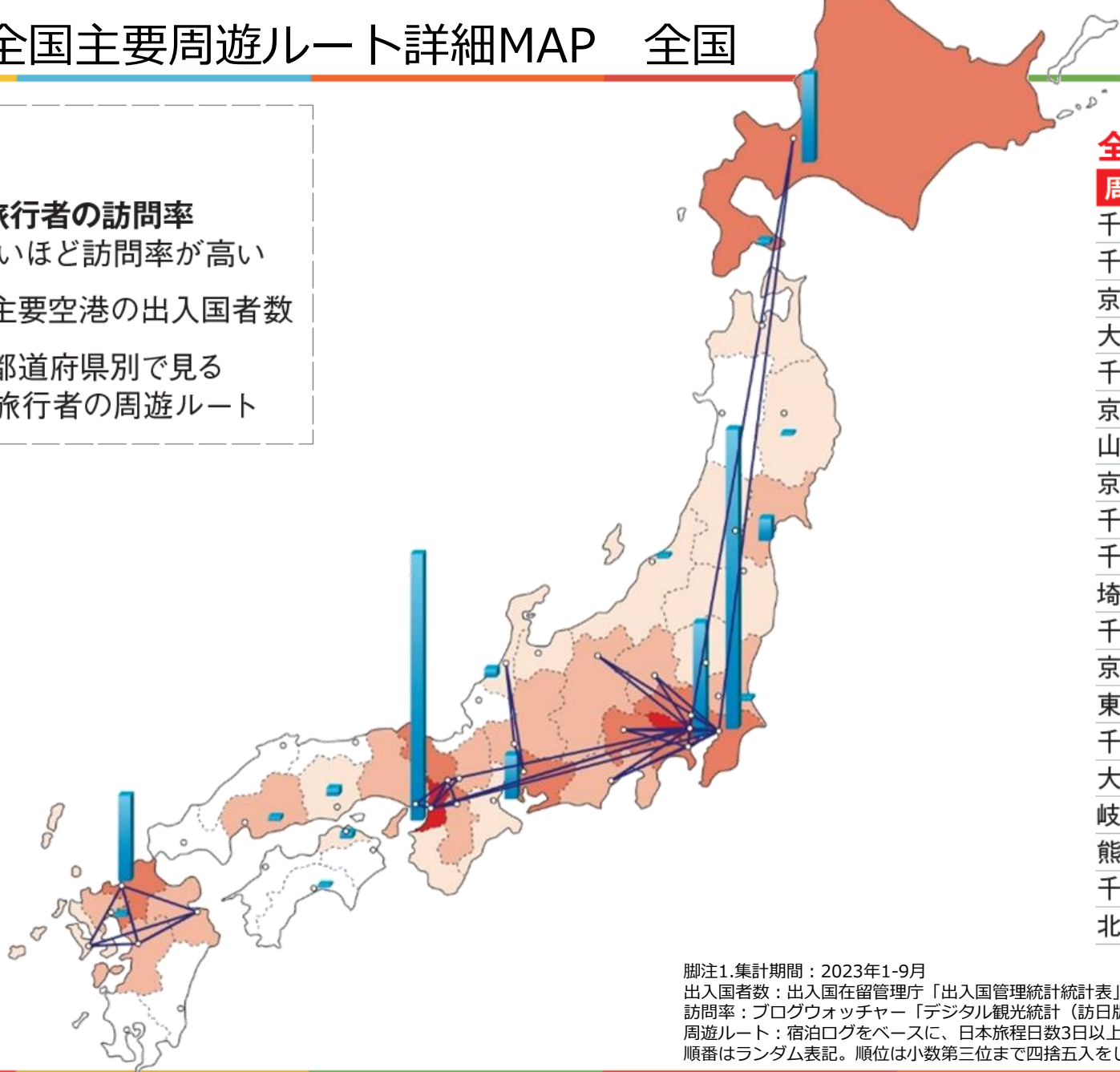


出典：2023年ブログウォッチャー調査「デジタル観光統計（訪日版）」  
宿泊ログをベースにしたルートの組み合わせをランキング化して上位20までのルートを地図化

# 台湾の全国主要周遊ルート詳細MAP 全国

## 凡例

- 旅行者の訪問率  
※色が濃いほど訪問率が高い
- 主要空港の出入国者数
- 都道府県別で見る旅行者の周遊ルート



## 全国トップ20

周遊都道府県	順位	出現率
千葉県－東京都－神奈川県	1	4.50%
千葉県－山梨県－東京都	2	3.48%
京都府－兵庫県－大阪府	3	3.43%
大分県－熊本県－福岡県	4	1.99%
千葉県－埼玉県－東京都	5	1.68%
京都府－大阪府－奈良県	6	1.41%
山梨県－東京都－神奈川県	7	1.34%
京都府－大阪府－東京都	8	1.33%
千葉県－東京都－長野県	9	1.15%
千葉県－大阪府－東京都	10	1.13%
埼玉県－東京都－神奈川県	11	0.99%
千葉県－東京都－静岡県	12	0.85%
京都府－大阪府－滋賀県	13	0.81%
東京都－神奈川県－静岡県	14	0.76%
千葉県－山梨県－東京都－神奈川県	15	0.72%
大分県－熊本県－福岡県－長崎県	16	0.61%
岐阜県－愛知県－石川県	17	0.61%
熊本県－福岡県－長崎県	18	0.55%
千葉県－東京都－群馬県	19	0.52%
北海道－千葉県－東京都	20	0.52%

脚注1.集計期間：2023年1-9月

出入国者数：出入国在留管理庁「出入国管理統計統計表」より空港ごとの出入国者数を算出し、1万人以上利用者がいる空港をマッピング

訪問率：ブログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より都道府県ごとの訪問率を算出（N数=1,250,939）

周遊ルート：宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、都道府県ごとの組み合わせ数3以上で県庁所在地をつないでルート化。

順番はランダム表記。順位は小数第三位まで四捨五入をして算出（N数=47,074、周遊ルートパターン数=1,874）

# 台湾の全国主要周遊ルート 地域ブロック別

## 地域ブロックトップ3

地域	順位
<b>北海道</b>	
北海道－千葉県－東京都	20
北海道－東京都－神奈川県	30
北海道－大阪府－東京都	36
<b>東北</b>	
宮城県－岩手県－青森県	31
宮城県－岩手県－秋田県	48
宮城県－東京都－青森県	50
<b>関東</b>	
千葉県－東京都－神奈川県	1
千葉県－山梨県－東京都	2
千葉県－埼玉県－東京都	5
<b>中部</b>	
千葉県－東京都－静岡県	12
東京都－神奈川県－静岡県	14
岐阜県－愛知県－石川県	17
<b>北陸信越</b>	
千葉県－東京都－長野県	9
岐阜県－愛知県－石川県	17
東京都－神奈川県－長野県	22

地域	順位
<b>関西</b>	
京都府－兵庫県－大阪府	3
京都府－大阪府－奈良県	6
京都府－大阪府－東京都	8
<b>中国</b>	
京都府－大阪府－岡山県	43
京都府－兵庫県－大阪府－岡山県	73
兵庫県－大阪府－岡山県	84
<b>四国</b>	
愛媛県－香川県－高知県	85
岡山県－愛媛県－香川県	92
岡山県－広島県－香川県	120

地域	順位
<b>九州</b>	
大分県－熊本県－福岡県	4
大分県－熊本県－福岡県－長崎県	16
熊本県－福岡県－長崎県	18
<b>沖縄</b>	
千葉県－東京都－沖縄県	94
東京都－沖縄県－神奈川県	121
京都府－大阪府－沖縄県	180

### 地域ブロック区分 (地方運輸局が管轄する単位で分類)


北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、福島県、秋田県、山形県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
北陸信越	新潟県、長野県、富山県、石川県
中部	静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、福井県
関西	滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄	沖縄県


# アメリカの全国主要周遊ルート詳細MAP 全国

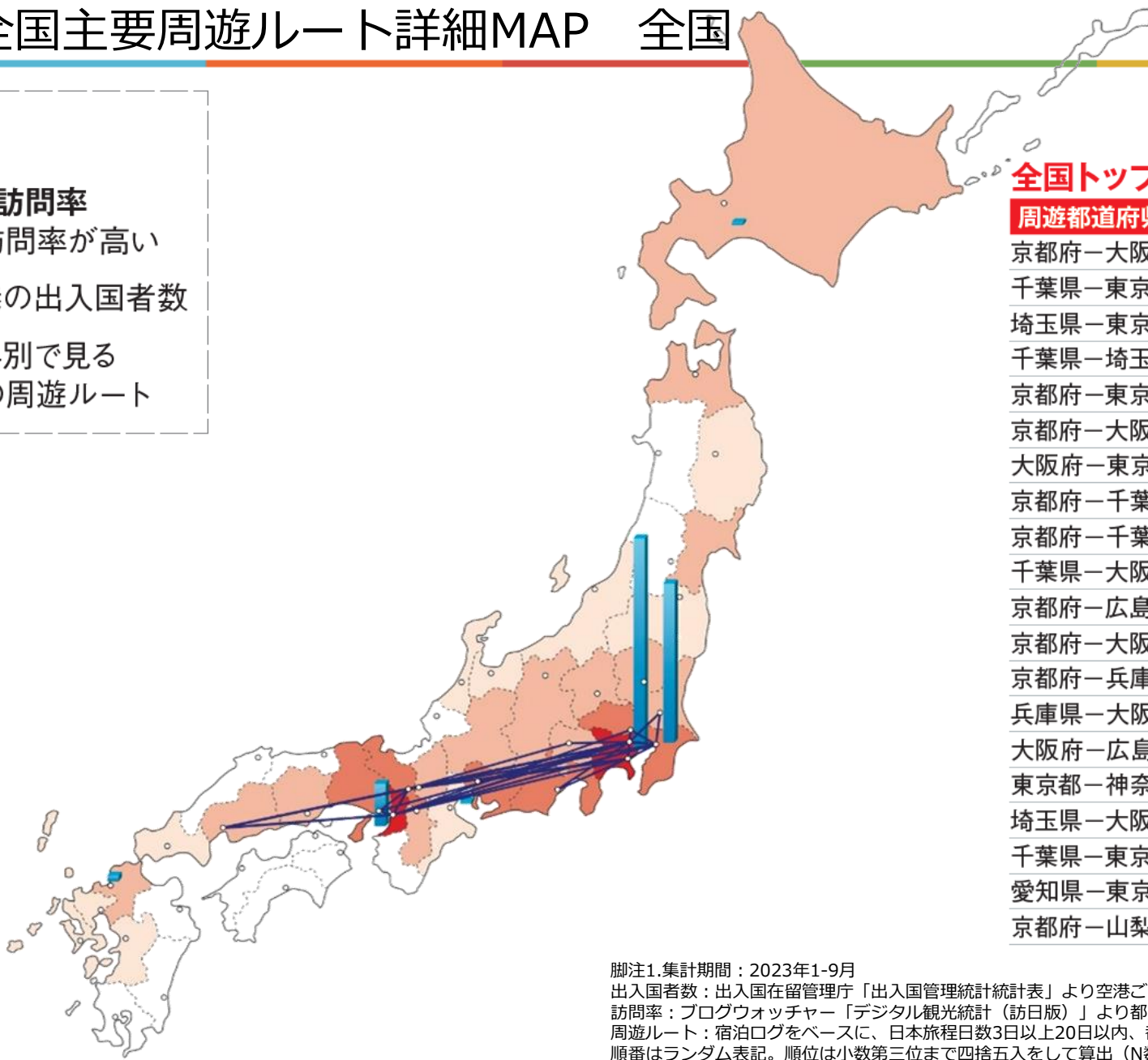
## 凡例

 旅行者の訪問率

※色が濃いほど訪問率が高い

 主要空港の出入国者数

 都道府県別で見る  
旅行者の周遊ルート



## 全国トップ20

周遊都道府県	順位	出現率
京都府-大阪府-東京都	1	5.80%
千葉県-東京都-神奈川県	2	2.73%
埼玉県-東京都-神奈川県	3	2.58%
千葉県-埼玉県-東京都	4	1.98%
京都府-東京都-神奈川県	5	1.86%
京都府-大阪府-東京都-神奈川県	6	1.35%
大阪府-東京都-神奈川県	7	1.34%
京都府-千葉県-大阪府-東京都	8	1.27%
京都府-千葉県-東京都	9	1.25%
千葉県-大阪府-東京都	10	1.15%
京都府-広島県-東京都	11	0.81%
京都府-大阪府-広島県-東京都	12	0.63%
京都府-兵庫県-大阪府	13	0.55%
兵庫県-大阪府-東京都	14	0.55%
大阪府-広島県-東京都	15	0.55%
東京都-神奈川県-静岡県	16	0.52%
埼玉県-大阪府-東京都	17	0.51%
千葉県-東京都-茨城県	18	0.50%
愛知県-東京都-神奈川県	19	0.47%
京都府-山梨県-東京都	20	0.47%

脚注1.集計期間：2023年1-9月

出入国者数：出入国在留管理庁「出入国管理統計統計表」より空港ごとの出入国者数を算出し、1万人以上利用者がある空港をマッピング

訪問率：ブログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より都道府県ごとの訪問率を算出（N数=2,416,080）

周遊ルート：宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、都道府県ごとの組み合わせ数3以上で県庁所在地をつないでルート化。

順番はランダム表記。順位は小数第三位まで四捨五入をして算出（N数=103,450、周遊ルートパターン数=3,387）



# アメリカの全国主要周遊ルート詳細MAP 地域ブロック別

## 地域ブロックトップ3

北海道	順位
北海道－東京都－神奈川県	21
北海道－埼玉県－東京都	44
北海道－千葉県－東京都	46
東北	順位
宮城県－東京都－神奈川県	48
埼玉県－宮城県－東京都	79
東京都－神奈川県－福島県	85
関東	順位
京都府－大阪府－東京都	1
千葉県－東京都－神奈川県	2
埼玉県－東京都－神奈川県	3
中部	順位
東京都－神奈川県－静岡県	16
愛知県－東京都－神奈川県	19
京都府－大阪府－愛知県－東京都	26
北陸信越	順位
京都府－東京都－石川県	38
東京都－神奈川県－長野県	54
京都府－大阪府－東京都－石川県	60

関西	順位
京都府－大阪府－東京都	1
京都府－東京都－神奈川県	5
京都府－大阪府－東京都－神奈川県	6
中国	順位
京都府－広島県－東京都	11
京都府－大阪府－広島県－東京都	12
大阪府－広島県－東京都	15
四国	順位
千葉県－愛媛県－東京都	142
京都府－広島県－愛媛県－東京都－神奈川県	198
兵庫県－大阪府－愛媛県	230

九州	順位
東京都－神奈川県－福岡県	42
大阪府－東京都－福岡県	47
京都府－大阪府－東京都－福岡県	56
沖縄	順位
千葉県－東京都－沖縄県	57
東京都－沖縄県－神奈川県	70
大阪府－東京都－沖縄県	84

### 地域ブロック区分 (地方運輸局が管轄する単位で分類)

北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、福島県、秋田県、山形県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
北陸信越	新潟県、長野県、富山県、石川県
中部	静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、福井県
関西	滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄	沖縄県

# ルート課題を見つけ出す診断チャート（※市場別でチェック実施）

ルート課題がなければ  
全国主要周遊ルートで  
更なる誘客を目指す

ルート課題

課題解決案（イメージ図）

全国主要周遊ルートに入っているか？

Yes

No

全国主要周遊ルートから日帰り圏内か？

Yes

No

地域ブロック主要周遊ルートに入っているか？

周遊ルートに  
組み込みにくい

Yes

No

診断A

一部のエリアに集中している  
（例：オーバーツーリズム）

集中エリアの分散手法として、  
時間や季節を加味しながら、人  
気スポットと他スポットをつな  
ぐ分散ルートを訴求する

全国主要  
周遊ルート



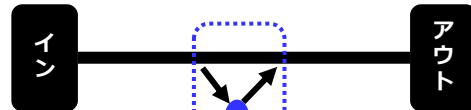
分散

診断B

全国主要周遊ルートから近いが滞  
在されていない（例：空港やJR  
パスの駅があるが通過されてい  
たり、近いが滞在されていない）

自地域とつなぎやすい主要周遊  
ルートから立ち寄りの旅程タイ  
ミングを決めて、立ち寄りスポ  
ットを磨き上げてルート化して訴  
求する（デイトリップツアーの  
造成などで認知を上げながら、  
ゆくゆくは宿泊への発展も目指  
す）

全国主要  
周遊ルート



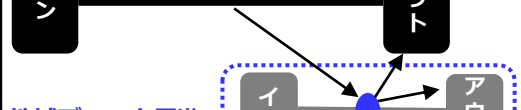
日帰り圏内で立ち寄り

診断C

全国主要周遊ルートから大きく離  
れている（例：ゴールデンルー  
トから離れているが、直行便がある  
地方空港からは近め）

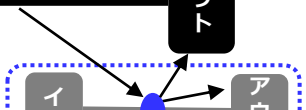
自地域が含まれる地域ブロック主  
要ルートの認知強化（リピーター  
のターゲティングや地方空港とも  
連携して増便もできるとなおよ  
い）。または、全国主要周遊ルー  
トの自地域の人気スポットをつな  
いだ新ルートを訴求する

全国主要  
周遊ルート



地域ブロック周遊  
ルートの認知獲得  
or 主要ルートと接続

全国主要  
周遊ルート



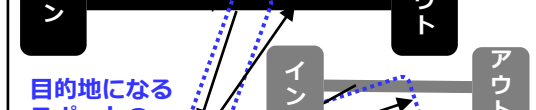
地域ブロック主要周遊ルート

診断D

全国主要周遊ルートも地域ブロッ  
ク主要周遊ルートも離れている  
（例：どの空港からも離れている  
秘境的なエリア）

全国主要周遊ルートにも地域ブ  
ロック周遊ルートにも含まれてい  
ないため、目的地になりえるポ  
テンシャルスポットの磨き上げを強  
化。広域推奨ルートにつないで、  
アクセス手法+魅力的な過ごし方  
+宿泊施設までセットで訴求する

全国主要  
周遊ルート



目的地になる  
スポットの  
磨き上げ&  
認知強化

地域ブロック  
主要周遊ルート

# 新たなモデルルートへの検討ステップ案

検討ステップ	詳細
① ルート課題の把握	MAPと診断チャート使って、市場別にルート課題を把握する。
② 狙いたい主要周遊ルートの候補決定	市場別に優先順位をつけて、自地域で狙いたい主要ルートの候補を、全国主要周遊ルートもしくは、地域ブロック主要周遊ルートから選定していく
③ 候補にしたルートの詳細を把握して自地域の入る余地を検討	候補にしたルートに対して、インアウトの空港、ルートで組み合わせになりやすい都道府県、人気スポットを確認し、自地域でつなげやすいエリアやスポットの当てをつける。
④ 候補にしたルートと比較しながら自地域の強みを決めて磨き上げ	候補にしたルートのスポットと比較して、自地域はどのタイミングで旅程に入る余地があるか、来訪してもらう理由の仮説を設定し、ポテンシャルがあるスポット中心に磨き上げる（HP掲載やSNS投稿で反応のよさ、公共交通機関の活用やJRパスの範囲内でアクセスのよさ、季節限定感など、他データも重ねながらポテンシャルの仮説を探していく）。
⑤ 候補にしたルートとつないで新モデルルートを作成	自地域で磨き上げた強みをベースに候補にしたルートとつないで、新モデルルート案をつくる。※新モデルルート案を必ず現場に行き確認し、アクセス上に課題がないか洗い出して磨き上げも行う（電車の本数や運行時間、スーツケース移動など無理がないか確認する）